

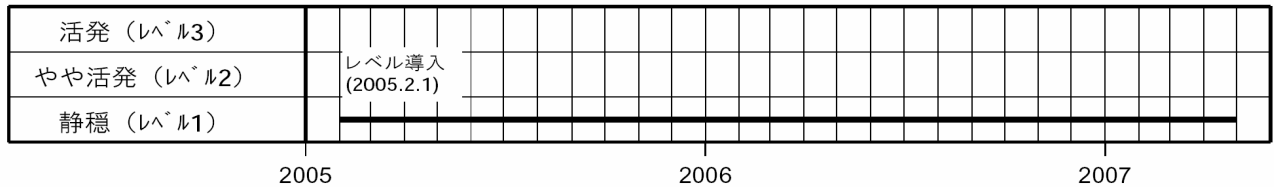
九重山

火山活動評価：静穏な状況（レベル1）

火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

2005年2月1日の導入以降、レベル1が継続しています。

火山活動度レベルの推移



概況

・噴煙活動（図2）

噴煙は白色・少量で、高さは概ね 200m（最高高度は 700m）で推移しました。

・地震、微動活動（図2、図3）

火山性地震の発生回数は1日あたり0～2回と少なく、静穏に経過しました。震源は、山体のごく浅いところに分布し、これまでと変化はありませんでした。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動（図4）

GPS連続観測では、火山活動に起因するとみられる変化は認められませんでした。

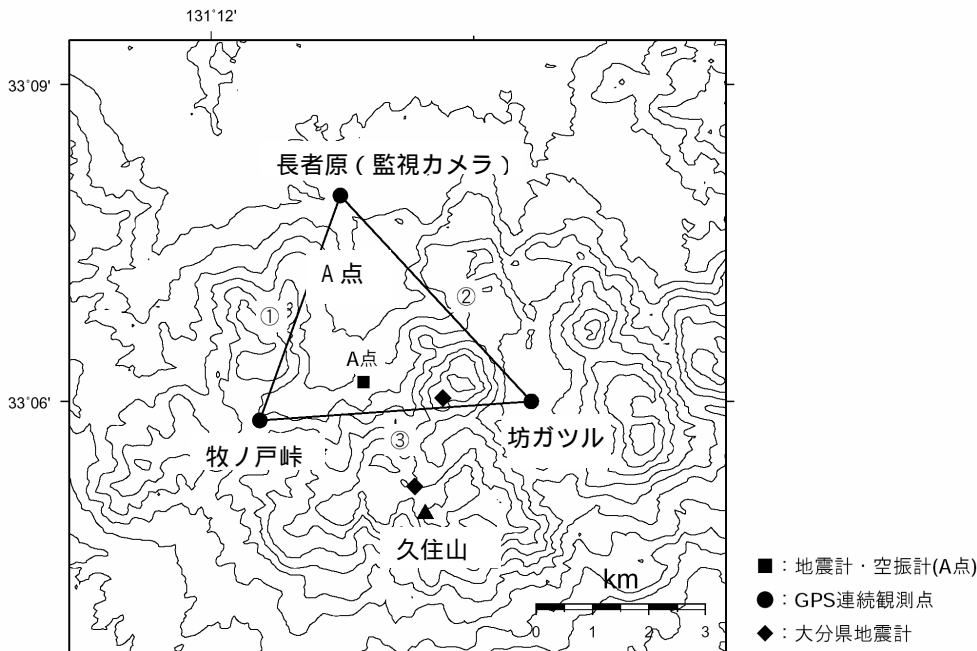


図1 九重山 観測点配置図

この資料作成に当たっては、気象庁のデータその他、大分県、防災科学技術研究所のデータ等を使用しています。

地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

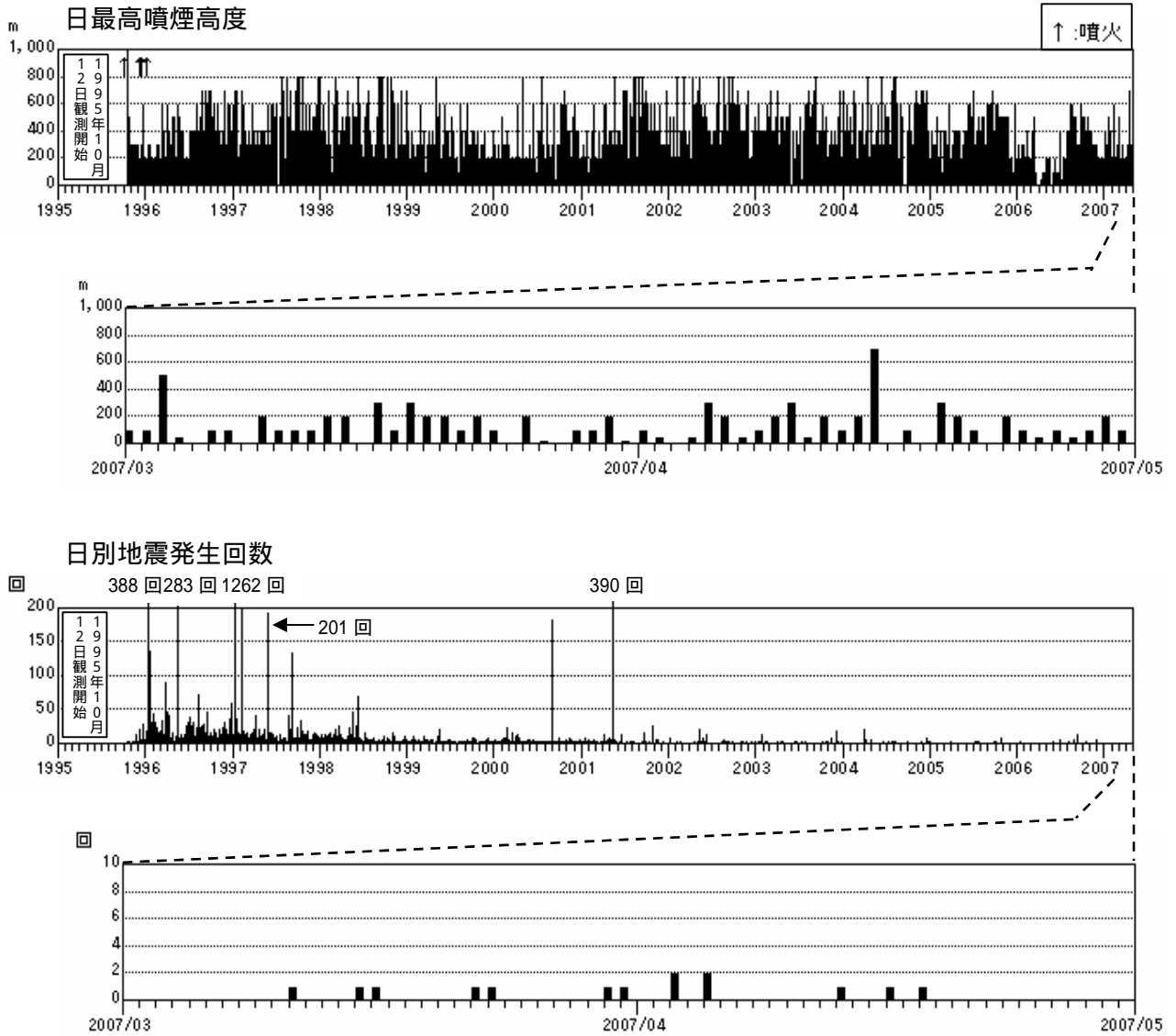


図2 九重山 火山活動経過図(1995年10月12日~2007年4月30日)

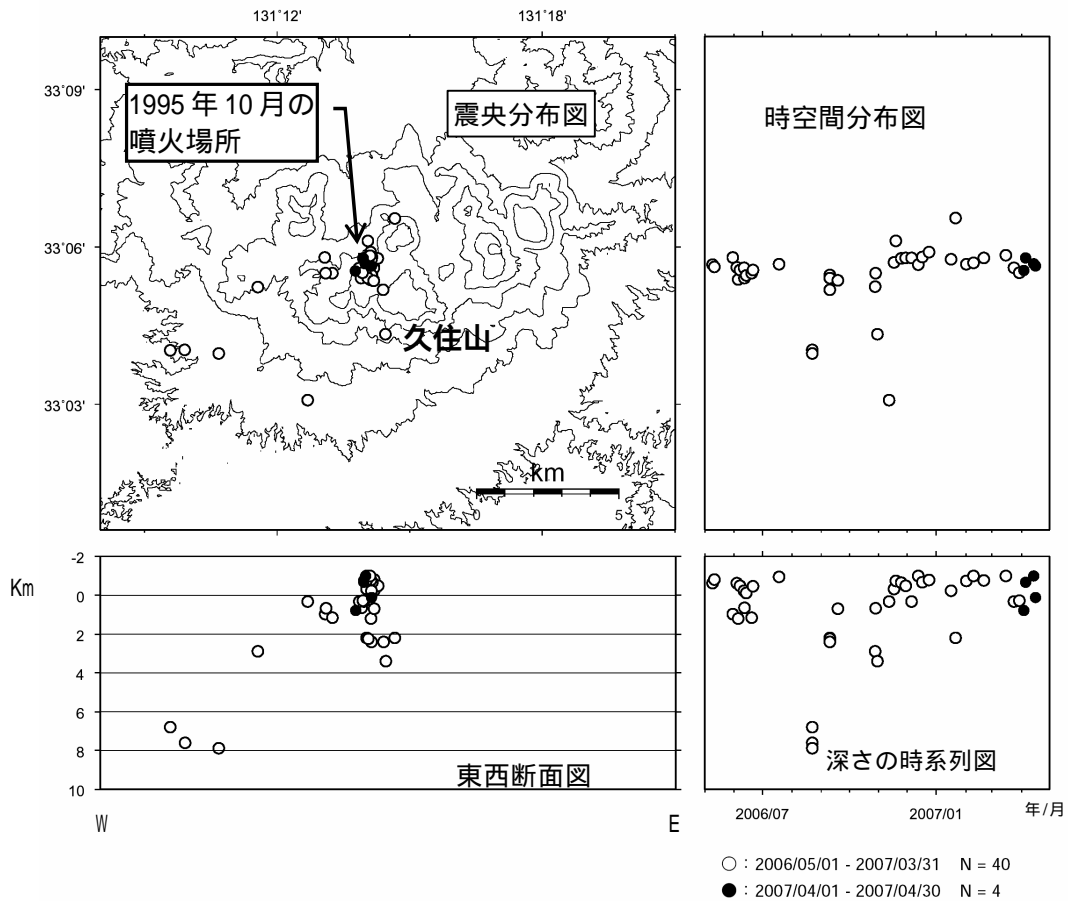


図3 九重山 震源分布図(2006年5月1日~2007年4月30日)
 2007年4月に震源が求まった地震は4個で、山体付近のごく浅い所に分布し、これまでと変化はありませんでした。

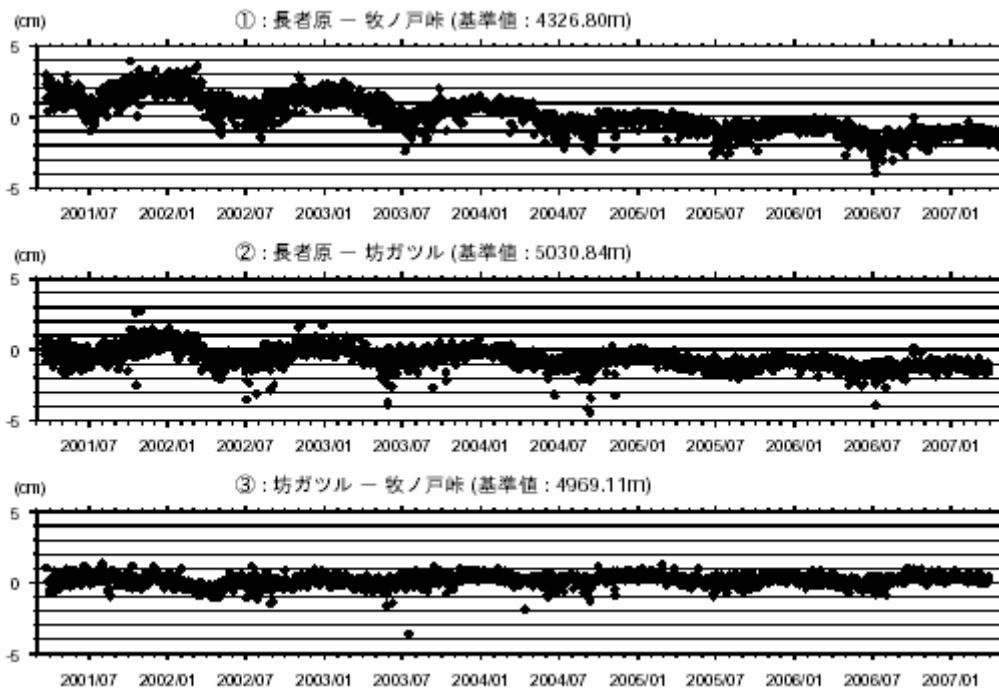


図4 九重山 GPS連続観測による基線長変化(2001年3月1日~2007年4月30日)
 GPSによる連続観測では、長者原 牧ノ戸峠の基線長は長期的に縮みの傾向が見えますが、他の基線長にはほとんど変化はありませんでした。